## 令和2年度 益子町立田野中学校 学校評価報告書【概要版】

		今	生徒一人一人の夢や思いを大切にし、確かな学力
教	○自ら学ぶ生徒	年度	勁さと思いやり、そして健康的で安全な学校文化の
育	○思いやりのある生徒	りの	創造を地域社会との連携・協働で目指す。
目	○進んで鍛える生徒	重	【重点ワード】
標		点目	勁 確(けい かく)
		標	「勁く(つよく) 確かに(たしかに)」

この 1 「授業第一主義」で、確かな学力を育むための学習指導の充実

2 豊かな心を育てる教育の充実

3 危機管理意識の高揚と基本的生活習慣の確立

4 未来展望に基づいた自主・自立の精神と勁い心身の育成

5 地域社会と連携・協働で行う教育活動の推進

・アンケート・教職員評達 価の肯定的意見

A··80%以上

成 B・・60%以上80%未満

C・・40%以上60%未満

|| 度 | D・・40%未満

在			標   「勁く(つよく) 確かに(たしかに)」		5	地域	<b>双社会と</b>	: 連携・協働で行う教育活動の推進		度   D・・40%未満				
<ul> <li>現 大 と 等 校 部 価 実 館 計 画</li> <li>産 成 状 忍</li> <li>「全体の現代と課題</li> <li>本 作価 女 学 の 選供を 選集 (大 宮 )</li> <li>本 作価 女 学 の 選供を 選集 (大 宮 )</li> <li>本 作価 女 の 学 方面は が 指導法の工夫・改善を図り、分かる授業を目指し、</li></ul>														
□ 生使の現状と課題				i										
<ul> <li>産生機側々の学力差はかります。</li> <li>なりある、家庭学習の定 指導法の工夫・収棄を図る。</li> <li>音度も発したまい。しか 投票では、生産に深く考えさせる場面を設ける。</li> <li>から、家庭学習の定 指導法の工夫・収棄を図る。</li> <li>を力の底上げは必要である。</li> <li>か学校からの時も上が 生徒・一人一人の家庭学習の状況を把握し、助言する。</li> <li>小学校からの時も上が 生徒・対している。と 直接の影響では、道徳的価値について、多面的・からにおしんどない。 タののため、お互いの個性を単直し、思いやりに溢れた き 直接の大変を図り、列展語を図り、人間と考えまして、生産の経験の固定化は否う。</li> <li>本理体し大地にしている。 と 一般の表達を図り、分面を設まれた。 方ののため、お互いの個性を単直し、思いやりに溢れた を 力のたまが上がまては、 道徳の横葉では、道徳的価値について、多面的・からにおしんどない。 タののに学べるように工たする。</li></ul>									【全体】					
中 生変腫をの学力差はか。		生徒の現状と課題	評価項目(主な方策)					達成状況と課題		┃ び」の実現と目標をもち、粘り強┃				
1	点			指標	生 徒	保護者	達成度							
### おきない。しかし、どの生徒に対しても、学力の底上げは必要である。  本 (本) 一人一人の家庭学習の状況を把難し、助言する。  小学校からの持ち上が (本) 一生作がお互いの個性を尊重し、思いやりに溢れた (本) 一生作の方を成れている。 (本) 一生作の方を成れている。 (本) 一大を関い、対応している。 (本) 一大を対している。 (本) 一大を全) 一大を全) 一大を対している。 (本) 一大を全) 一大を全) 一大を会) 一大の一大を会) 一大を会) 一大を表) 「本) 一大の一大を会) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本		生徒個々の学力差はか	基礎・基本の定着を図り、分かる授業を目指し、					分かる授業が展開されている。さ		積極的にICT機器を利用し、基				
し、どの生徒に対しても、学力の底上げは必要である。	1	なりある。家庭学習の定	指導法の工夫・改善を図る。	生	Α	Α	Α	らに基礎・基本の定着に努める。		礎・基本の定着を図る。				
学力の成上げは必要である。         作徒一人一人の家庭学習の状況を把握し、助言する。。         体展 あ。         体展 方。         体展 方。         保護 方。         か学校からの持ち上が との選携を辿るし。         家庭学習の方法を検討し、保護 との選携を辿める。         家庭学習の方法を検討し、保護 との選携を辿める。         家庭学習の方法を検討し、保護 との選携を辿める。         家庭学習の方法を検討し、保護 との選携を辿める。         なの選供を適点、 学業指導の充実を図り、湯成 ・ で表しまりたまり、 を理解し、対応している。 いではほとんどない。 女人関係の固定化は否かった。 ない。         本 A A A ことができた。 生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行った。 生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行った。 ない。         A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		着度も差も大きい。しか	授業では、生徒に深く考えさせる場面を設ける。	徒				主体的・対話的で、深い学びの実		「話し合い活動」を通して、思考				
る。		し、どの生徒に対しても、		•	В	В	Α	現に向けた取り組みの継続する。		力の育成を図る指導法の研究。				
マット ではからの持ち上が 生徒がお互いの個性を尊重し、思いやりに溢れた き かっため、お互いの個性 学級・学校づくりに取り組む。 と 生様の長業では、遺徳的価値について、多面的・		学力の底上げは必要であ	生徒一人一人の家庭学習の状況を把握し、助言す	保				取り組みに個人差があり、個別		家庭学習の方法を検討し、保護者				
2 りのため、お互いの個性を理解し、対応している。		る。	る。	護	В	В	Α	指導の充実が必要である。		との連携を強める。				
を理解し、対応している。 いじめはほとんどない。 友人関係の固定化は否め ない。  (本まず、学校内外のル 3 ールやマナーを比較的よ く守っている。生徒の校 外での危機回避能力の いて、来知数である。 (対策的な生活が送れるよう指導する。 いては、未知数である。 (対策のおり強く取り組 む。機全な成長を意識し、 治療全な成長を意識し、 治療性のに粘り強く取り組 む。機全な成長を意識し、 治療性のに、指導・支援する。 「対すや部活動等には、 主体的に粘り強く取り組 む。機全な成長を意識し、 治療性を行す、生徒の行事が、関係というなどの、 を持力する。 「学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動 然としており、明確では ない。  (表) 大力		小学校からの持ち上が	生徒がお互いの個性を尊重し、思いやりに溢れた	者				相手を尊重した言動を表現でき		学業指導の充実を図り、帰属意識				
かじめはほとんどない。   多角的に学べるように工夫する。   生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行った。   生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行った。   生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行った。   生徒理解を深め、一人一人の気   生徒の悩みや問題行動の解消にけて、組織が支援の充実を図る。   生徒主体の定義的な訓練の実施   大京でいる。生徒の校   次で・安全で、規律ある学校生活が送れるよう指導・支援する。   大京を作成した、未知数である。   でまるようにする。   大京を作成した   大京を作成した。   大京を作る。   大京を作成した。   大京を作成した。   大京を作る。   大京を作成した。   大京を作る。   大変をでのを語のきっかけになる。   大変をでのを語のきっかけになる。   大変を使っている。   大京を作る。   大変を作る。   大変を作る。	2	りのため、お互いの個性	学級・学校づくりに取り組む。	$\mathcal{O}$	Α	В	Α	るように指導する。		の高い学級づくりに努める。				
友人関係の固定化は否めない。         生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行う。         女人関係の固定化は否めない。         生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行う。         女人関係の固定化は否めない。         本まず、学校内外のルでマナーを比較的よびに努める。         本実施         生徒の悩みや問題行動の解消にけて、組織的支援の充実を図る。 株まず、学校内外のルの成に努める。 ない。 ないでいる。生徒の校外での危機回避能力についている。生徒の校外での危機回避能力については、未知数である。 健康的な生活が送れるように、指導・支援する。 は非的な生活が送れるように、指導・支援する。 と体的に結り強く取り組むる。 学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動ない。 健康的な性を含まるときないできるようでは、生徒が主体的に活動ない。 学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動ない。 会事の大切さを理解させ、自己健康管理ができる よう指導する。 食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができる よう指導する。 食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができる よう指導する。 食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができる よう指導する。 食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができる よう指導する。 食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができる よう指導を表示した。 ないの育成に努める。 今後も積極的な情報発信に努め、 家庭での会話のきっかけになる		を理解し、対応している。	道徳の授業では、道徳的価値について、多面的・	ア				授業を通して自分の考えを広め		道徳の授業の充実を図り、道徳的				
ない。   う。   休まず、学校内外のル   飛難訓練等をとおして、生徒の危機回避能力の育   方、   大まで、学校内外のル   小ルやマナーを比較的よ   大守っている。生徒の校   外での危機回避能力につ   導する。   作来の夢や希望をもたせ、キャリア教育を推進す   と体的に粘り強く取り組   も。   性を主体の学校行事が足関である。   学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動   技能はよく食べる。将来   に対しする夢や希望が演   然としており、明確では ない。   農村部の地域密着型の   機能をとおして、生徒の危機回避能力の育   人		いじめはほとんどない。	多角的に学べるように工夫する。	ン	Α	Α	Α	ることができた。		実践力を高める指導の工夫を図る。				
株まず、学校内外のル   避難訓練等をとおして、生徒の危機回避能力の育成に努める。		友人関係の固定化は否め	生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行	ケ				生徒理解を深め、一人一人の気		生徒の悩みや問題行動の解消に向				
カールやマナーを比較的よく守っている。生徒の校外での危機回避能力については、未知数である。		ない。	う。		Α	В	Α	持ちにより添った支援に努める。		けて、組織的支援の充実を図る。				
く守っている。生徒の校 外での危機回避能力については、未知数である。         安心・安全で、規律ある学校生活が送れるよう指 導する。         果 夢 健康的な生活が送れるように、指導・支援する。         果 参 名         A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		休まず、学校内外のル	避難訓練等をとおして、生徒の危機回避能力の育	7				生徒主体の実践的な訓練の実施	未実施	実践的な訓練方法と保護者への質				
外での危機回避能力については、未知数である。導する。 健康的な生活が送れるように、指導・支援する。参名 A A A 生活できるようにする。 規則正しい生活の指導に留意する。 と本体的に粘り強く取り組む。 ・健全な成長を意識し、給食はよく食べる。将来に対しする夢や希望が決然としており、明確ではない。機事の大切さを理解させ、自己健康管理ができるように支援する。 会事の大切さを理解させ、自己健康管理ができるように支援する。 会表して取り組む。A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	3	ールやマナーを比較的よ	成に努める。	結	Α	D	Α	を検討する。		問内容の再検討が必要である。				
いては、未知数である。         健康的な生活が送れるように、指導・支援する。         考に         A B A SU要がある。         規則正しい生活の指導に留意する必要がある。         スマホ・タブレット等の使いたついての指導を充実させる。           4 主体的に粘り強く取り組む。健全な成長を意識し、給食はよく食べる。将来に対しする夢や希望が漠然としており、明確ではない。         学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動を送れるように支援する。         おとしており、明確ではない。         会後も主徒会が中心となり生徒を対し、おり強くやり通す勁い心身を育ない。         会後も部活動に積極的に取り組みる。 かんましており、明確ではない。         大名 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		く守っている。生徒の校	安心・安全で、規律ある学校生活が送れるよう指	果				今後も継続して安全に配慮して		交通安全教室・立哨指導・郊外巡				
		外での危機回避能力につ	導する。	参	Α	Α	Α	生活できるようにする。		視などを今後も継続して行う。				
		いては、未知数である。	健康的な生活が送れるように、指導・支援する。	考				規則正しい生活の指導に留意す		スマホ・タブレット等の使い方に				
4主体的に粘り強く取り組 む。健全な成長を意識し、 学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動 給食はよく食べる。将来 に対しする夢や希望が漠 然としており、明確では ない。方等の企画段階より生徒に関える ・ 				に	Α	В	Α	る必要がある。		ついての指導を充実させる。				
か。健全な成長を意識し、 学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動		行事や部活動等には、	将来の夢や希望をもたせ、キャリア教育を推進す	L				将来の目標をもって学校生活を		将来の夢や希望に向かって目標を				
<ul> <li>給食はよく食べる。将来 できるようサポートする。</li> <li>に対しする夢や希望が漠 然としており、明確では ない。</li> <li>農村部の地域密着型の</li> <li>一 地域・保護者に対し、たよりやホームページを活</li> <li>職 日本 A 主体の学校行事が展開された。 今後も部活動に積極的に取り組 み み、充実した活動を展開する。 さらに食育の指導の充実を図り、 はう指導する。</li> <li>日本 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A</li></ul>	4	主体的に粘り強く取り組	る。	た	Α	В	Α	過ごせるように支援する。		立て、実践できるように支援する。				
に対しする夢や希望が漠 部活動を中心に、粘り強くやり通す勁い心身を育		む。健全な成長を意識し、	学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動	教				今後も生徒会が中心となり生徒		行事の企画段階より生徒に関わら				
然としており、明確ではない。       む。       では、まり指導する。       では、まり指導する。       A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		給食はよく食べる。将来	できるようサポートする。	職	Α	Α	Α	主体の学校行事が展開された。		せることで達成感を実感させる。				
ない。       食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができるよう指導する。       価       さらに食育の指導の充実を図り、		に対しする夢や希望が漠	部活動を中心に、粘り強くやり通す勁い心身を育	員				今後も部活動に積極的に取り組		活動に目標をもって取り組めるよ				
よう指導する。       A A A 例い体の育成に努める。       続して取り組む。         農村部の地域密着型の 地域・保護者に対し、たよりやホームページを活       一人後も積極的な情報発信に努め、       家庭での会話のきっかけになる		然としており、明確では	む。	評	Α	Α	Α	み、充実した活動を展開する。		う、生徒一人一人を支援する。				
農村部の地域密着型の 地域・保護者に対し、たよりやホームページを活 今後も積極的な情報発信に努め、 家庭での会話のきっかけになる		ない。	食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができる	価				さらに食育の指導の充実を図り、		栄養教諭と連携して食育指導を継				
			よう指導する。		Α	Α	Α	勁い体の育成に努める。		続して取り組む。				
5   学校であり、学校への関   用し、積極的に情報を発信する。   B   A   A   地域との連携を深める。   う内容を工夫する。		農村部の地域密着型の	地域・保護者に対し、たよりやホームページを活					今後も積極的な情報発信に努め、		家庭での会話のきっかけになるよ				
	5	学校であり、学校への関	用し、積極的に情報を発信する。		В	Α	Α	地域との連携を深める。		う内容を工夫する。				
□ 心は高い。生徒も地域人 ふれあい交流活動やマイチャレンジで、地域の人 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		心は高い。生徒も地域人	ふれあい交流活動やマイチャレンジで、地域の人					田野っ子いきいきプランの実践		生徒会組織を生かし、活動の充実				
として生活している。 材や資源を活用し、地域とのつながりを大切する。		として生活している。	材や資源を活用し、地域とのつながりを大切する。		A	A	A	(あいさつ) が実践された。		を図る。				